音楽作品にアプローチするソルフェージュ教育(4)

聴音課題集

—パリ音楽院出身の作曲家の作品から—

Solfège Education to Approach Musical Works(4)

髙柳　理恵

TAKAYANAGI Rie

はじめに

「音楽作品にアプローチするソルフェージュ教育(2)」[1]に引き続き、実際の楽曲を引用して作成した聴音課題集である。

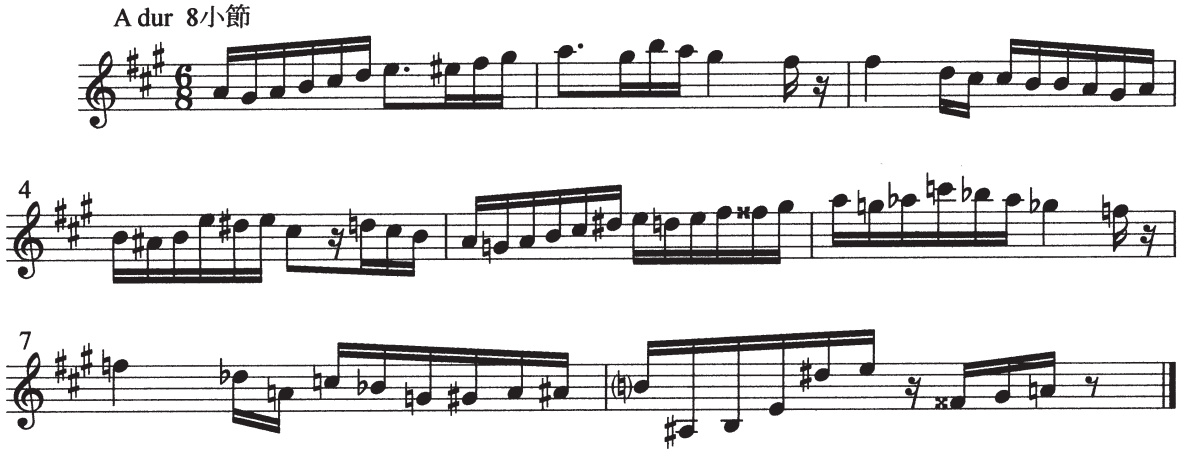
今回はパリ音楽院で学んだ作曲家の中からベルリオーズ、フランク、ドビュッシー、ラヴェルの作品を取り上げた。

教材としての使用方法などについては「音楽作品にアプローチするソルフェージュ教育(2)」と同様である。

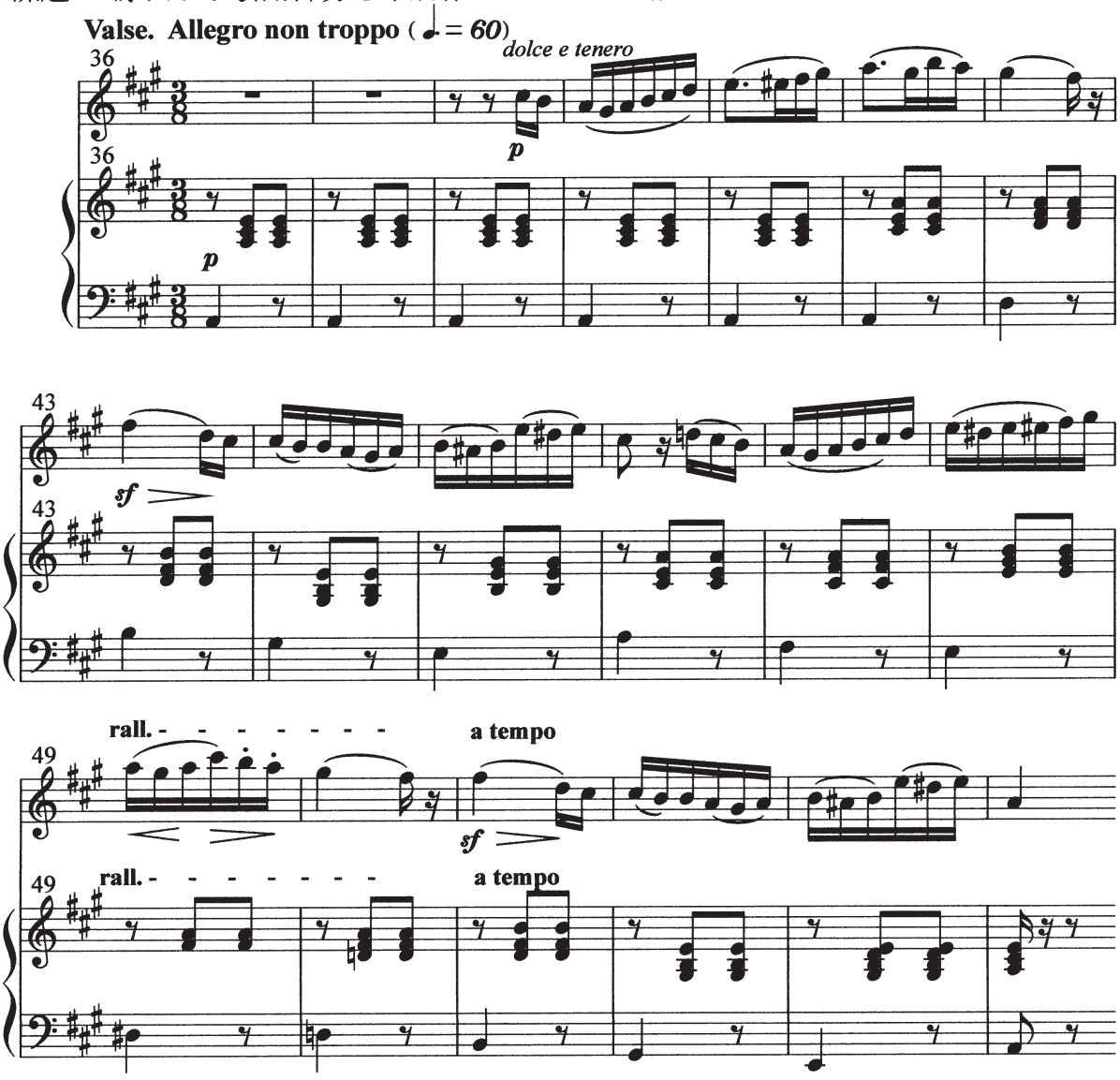
---

1 髙柳理恵「音楽作品にアプローチするソルフェージュ教育(2)」『岐阜大学教育学部研究報告（人文科学)』第 61 巻第 2 号　2013 年

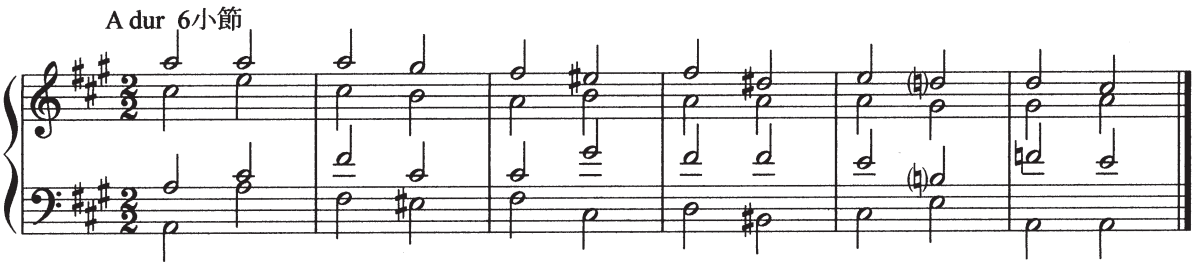
課題1. 幻想交響曲0p. 14 第2楽章「舞踏会」（Berlioz作曲）をもとにした単旋律課題



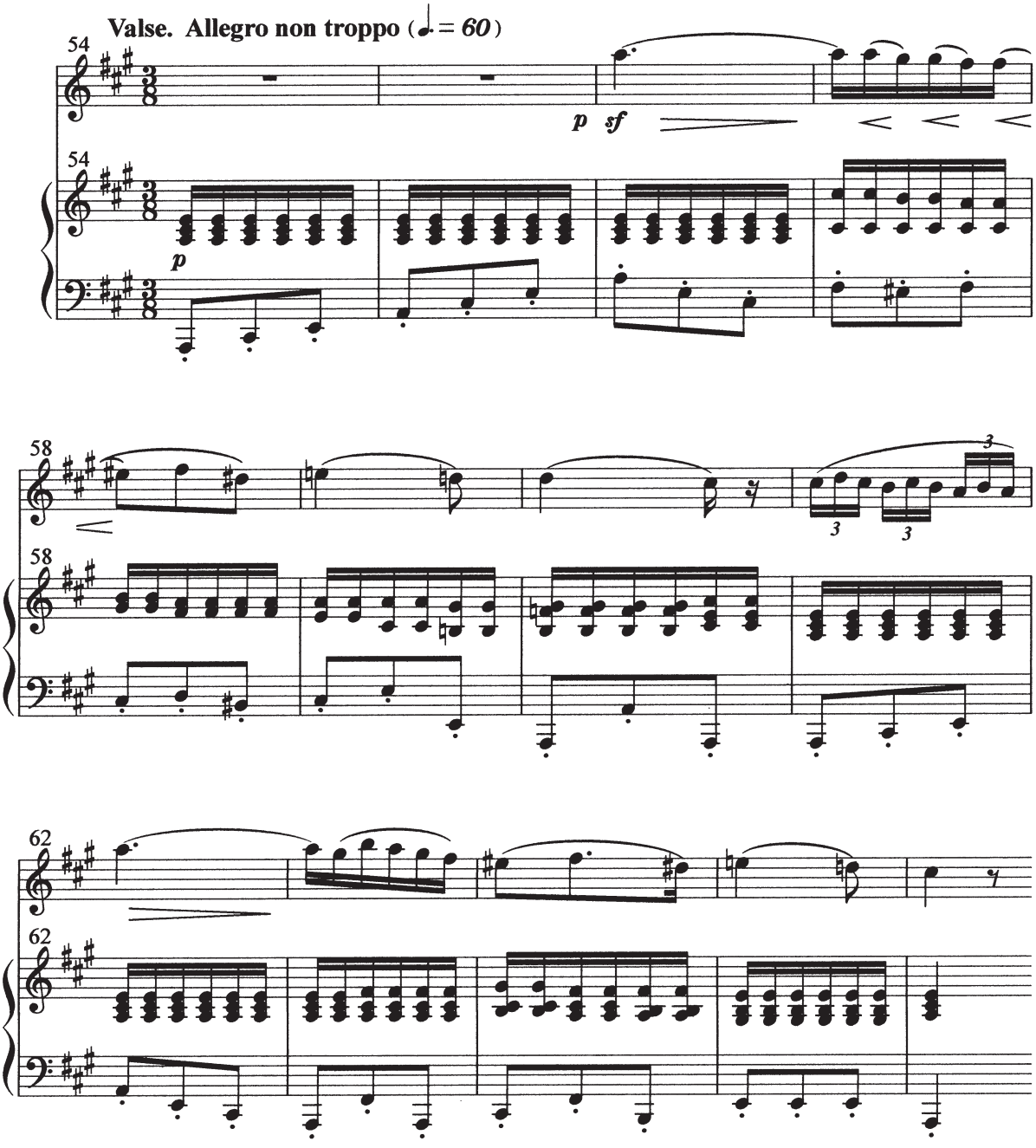
課題1の原曲より引用部分を単旋律＋ピアノ用に編曲



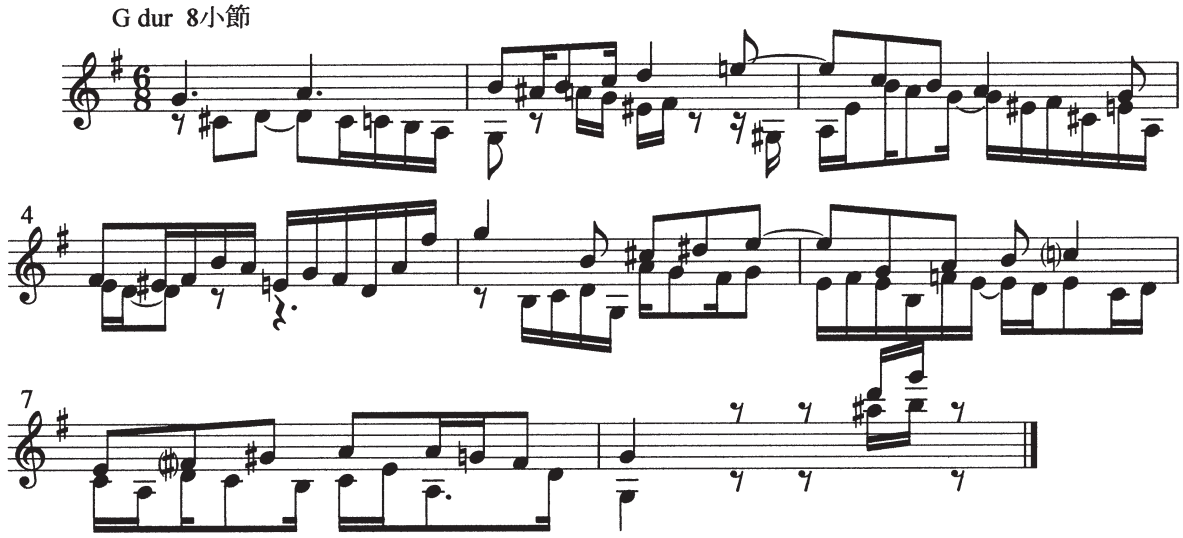
課題2. 幻想交響曲0p. 14 第2楽章「舞踏会」 (Berlioz作曲)をもとにした4声課題



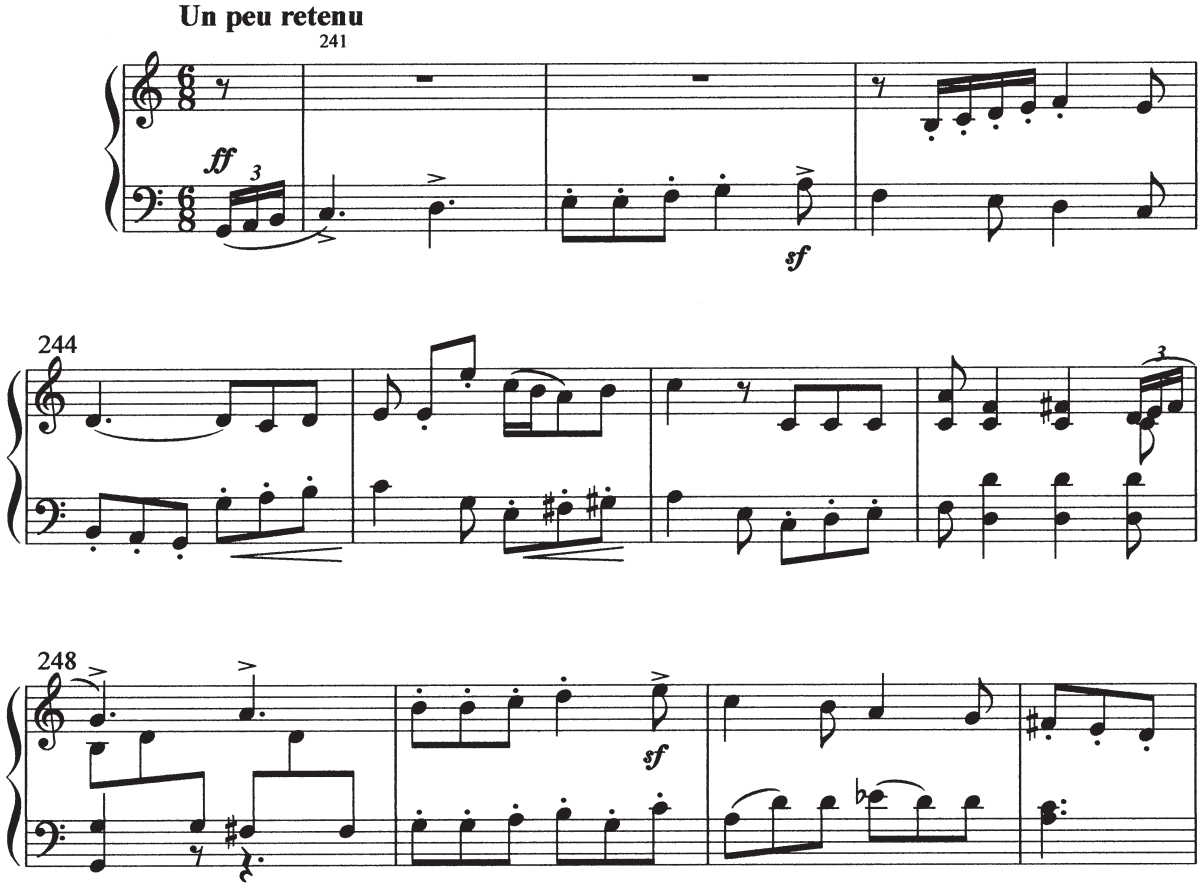
課題2の原曲より引用部分を単旋律＋ピアノ用に編曲



課題3. 幻想交響曲Op. 14 第5楽章「サバトの夜の夢」（Berlioz作曲）をもとにした複旋律課題

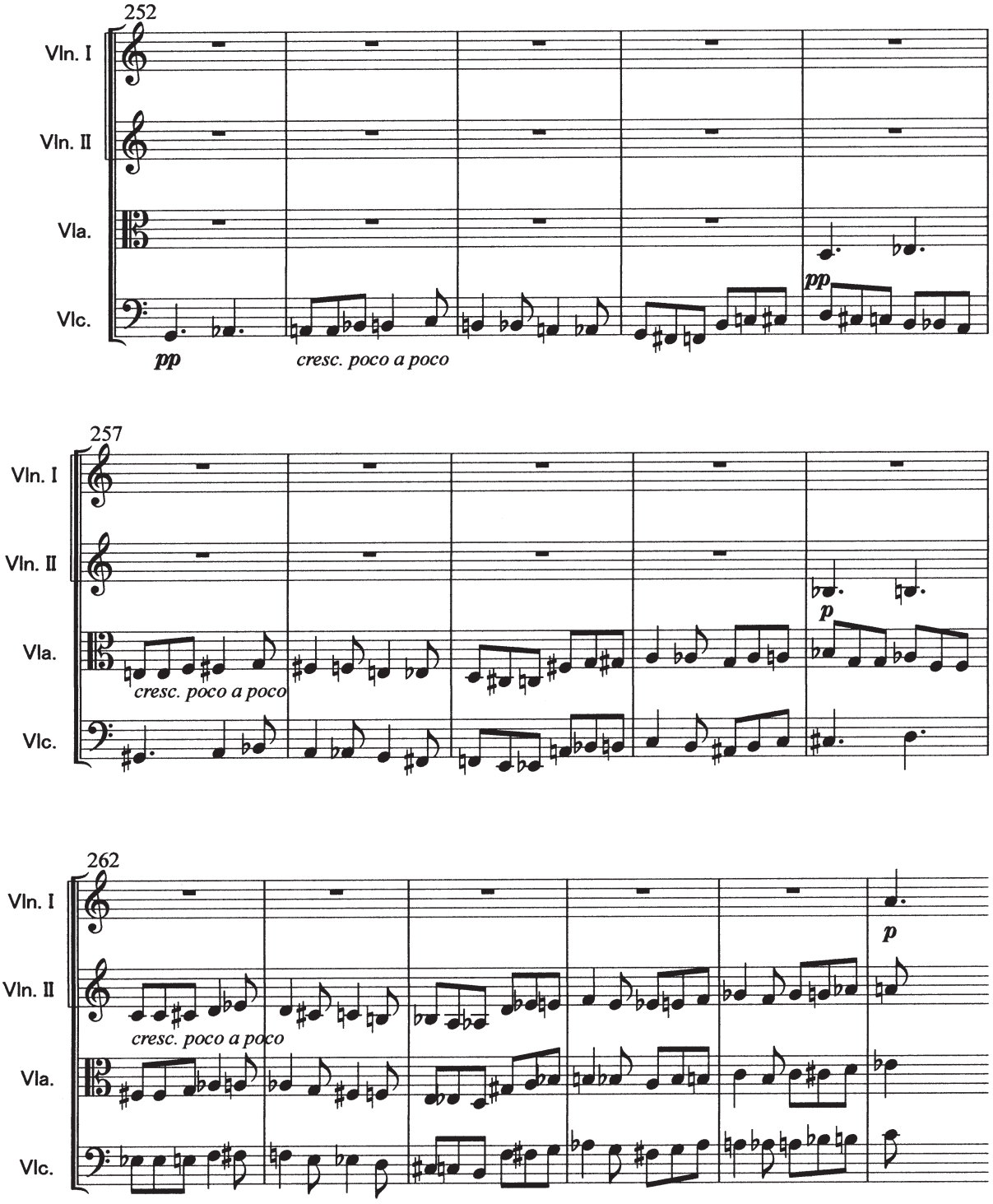


課題3の原曲より引用部分をピアノ用に編曲



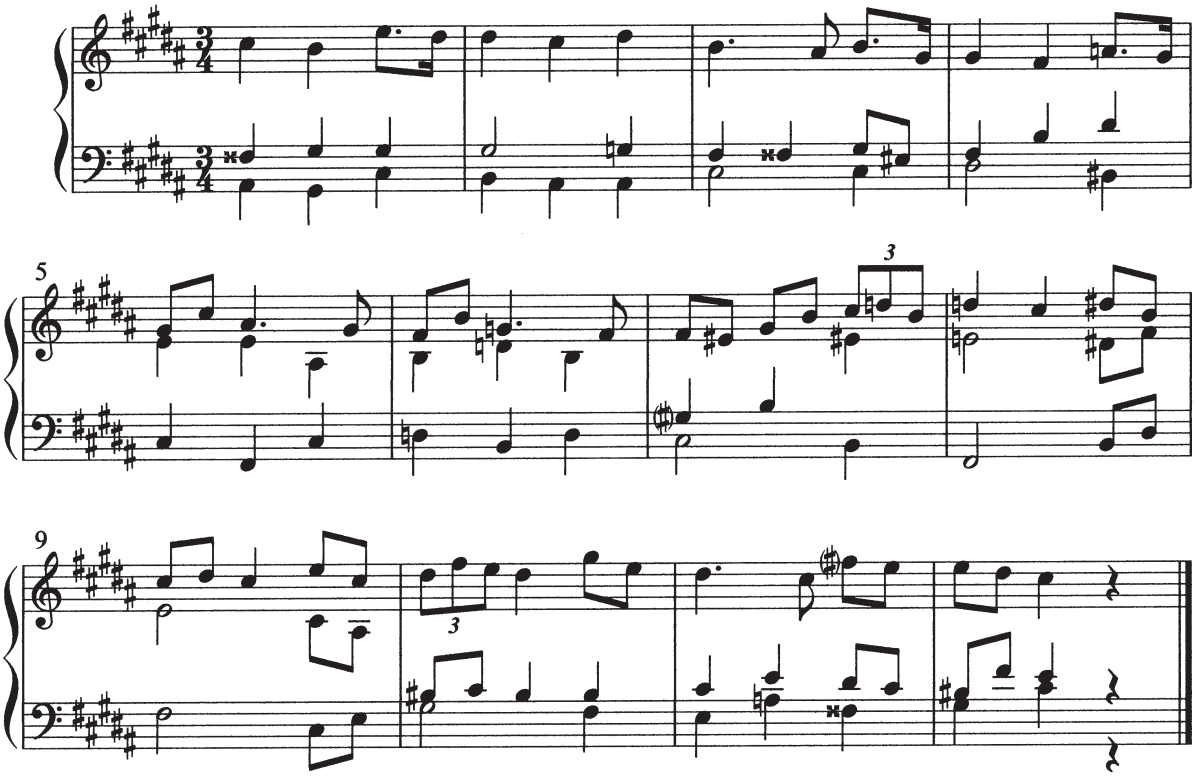
課題3の引用部分の音程を変え階梯導入で表れるテーマ

※音程を変化させることによって生じる音楽的効果、加えて階梯導入がどのように音楽的効果に結びつくかを考えさせる。

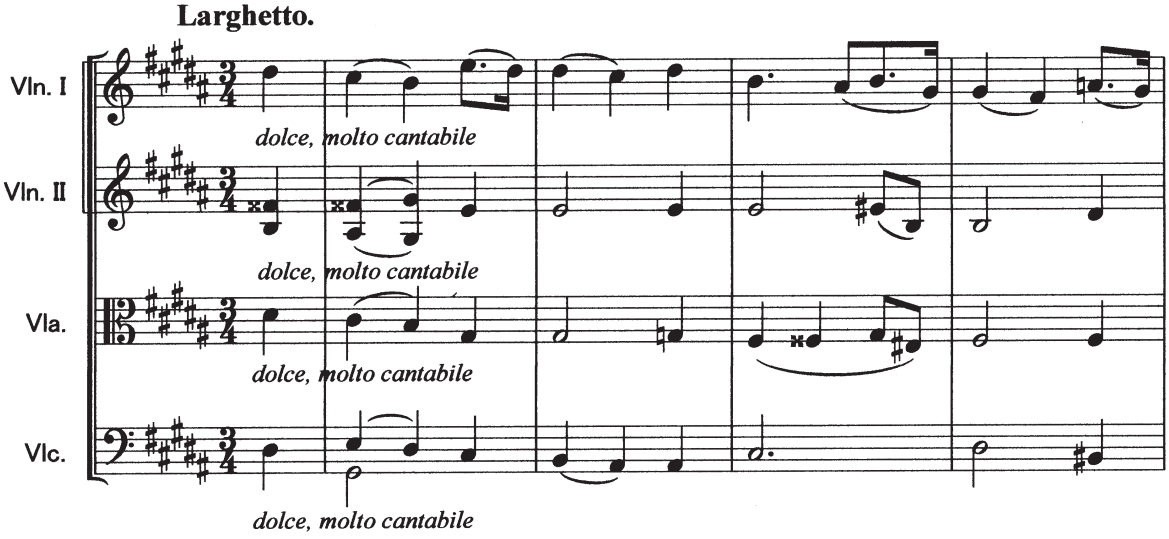


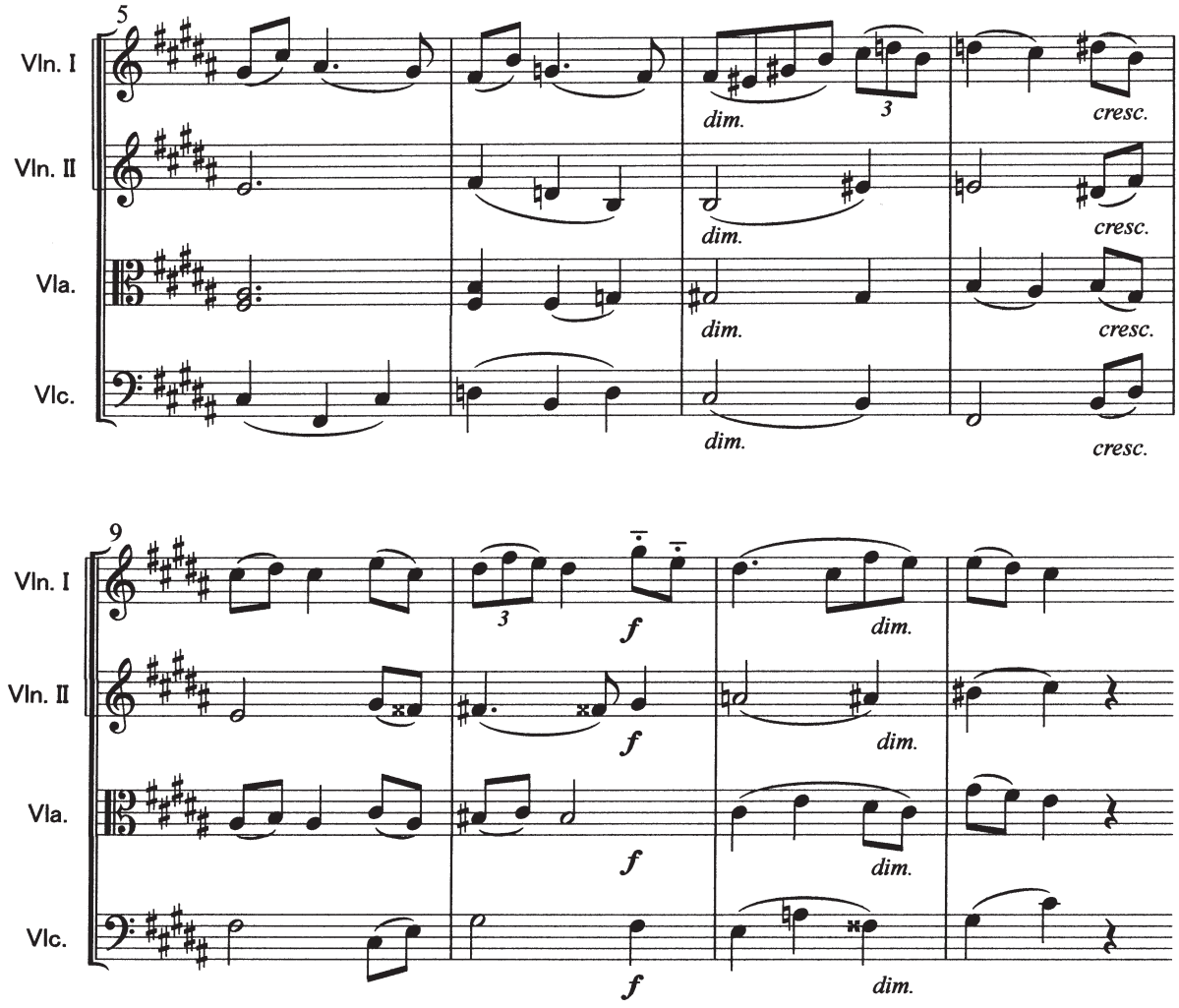
課題4. 弦楽四重奏曲 第3楽章(Franck作曲)をもとにした3声課題

♯5つ 12小節



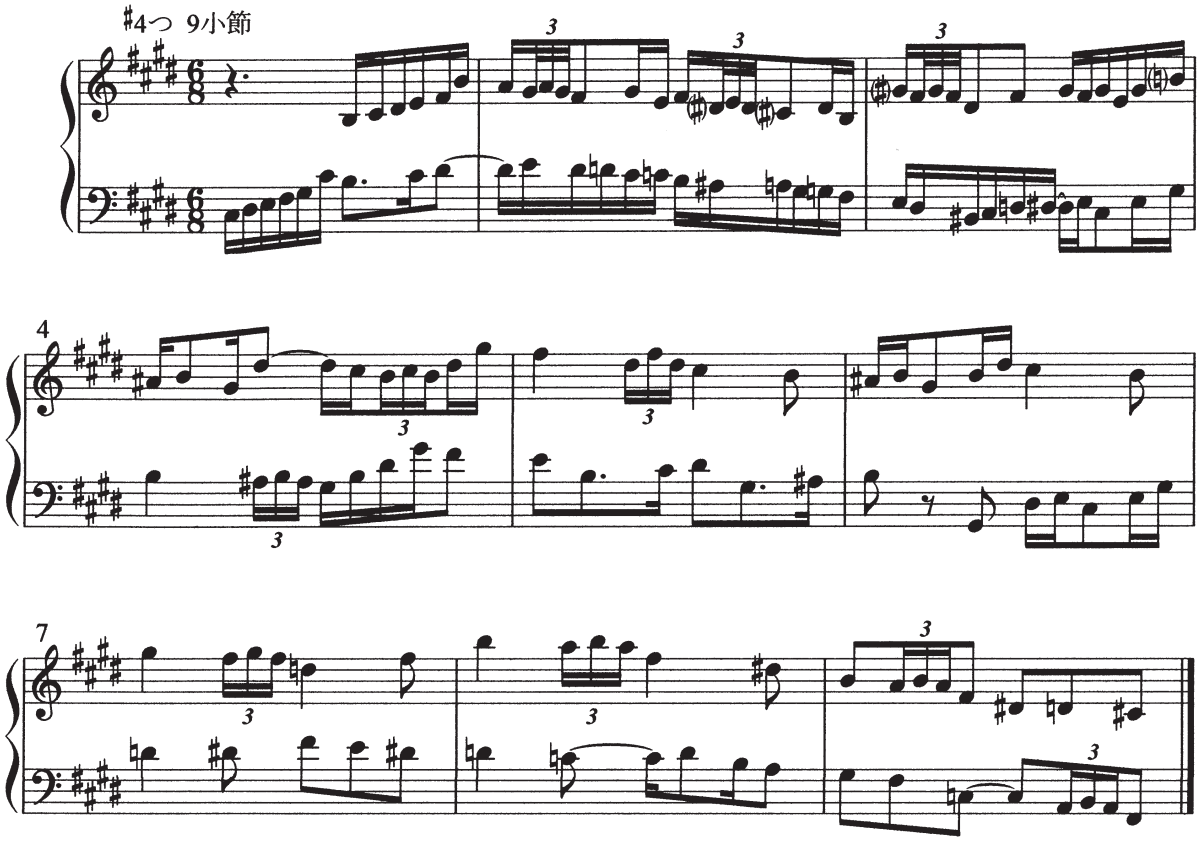
課題4の原曲より引用部分を抜粋



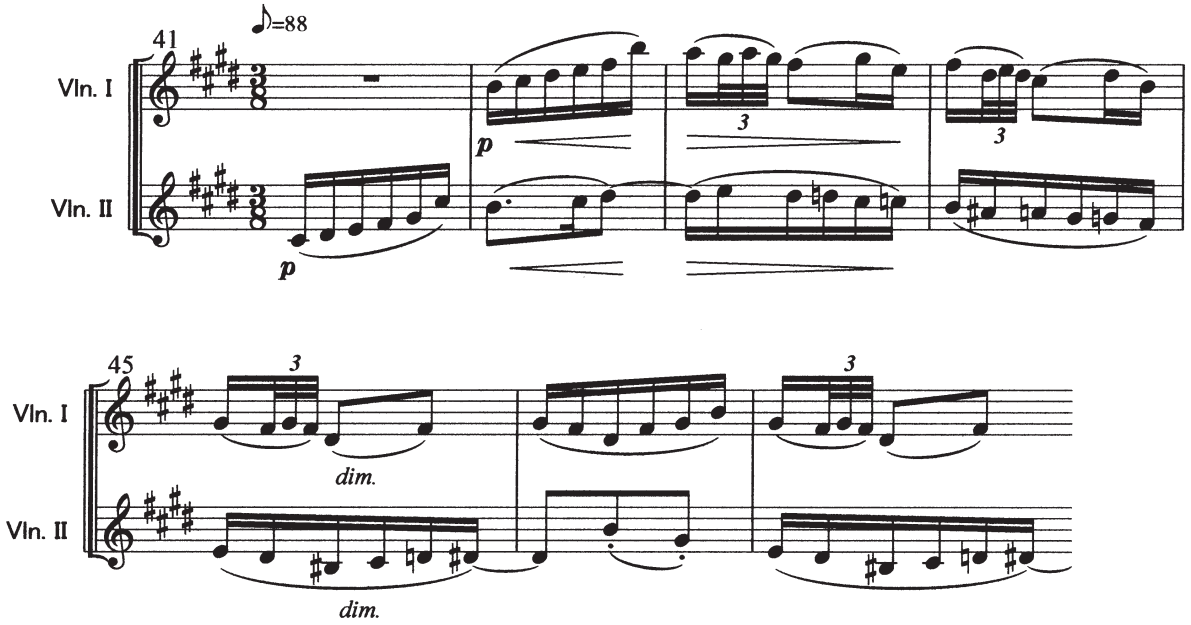


※途中経過する調性を考えさせる。
　また、弦楽四重奏の書式でも読譜出来るようにさせる。

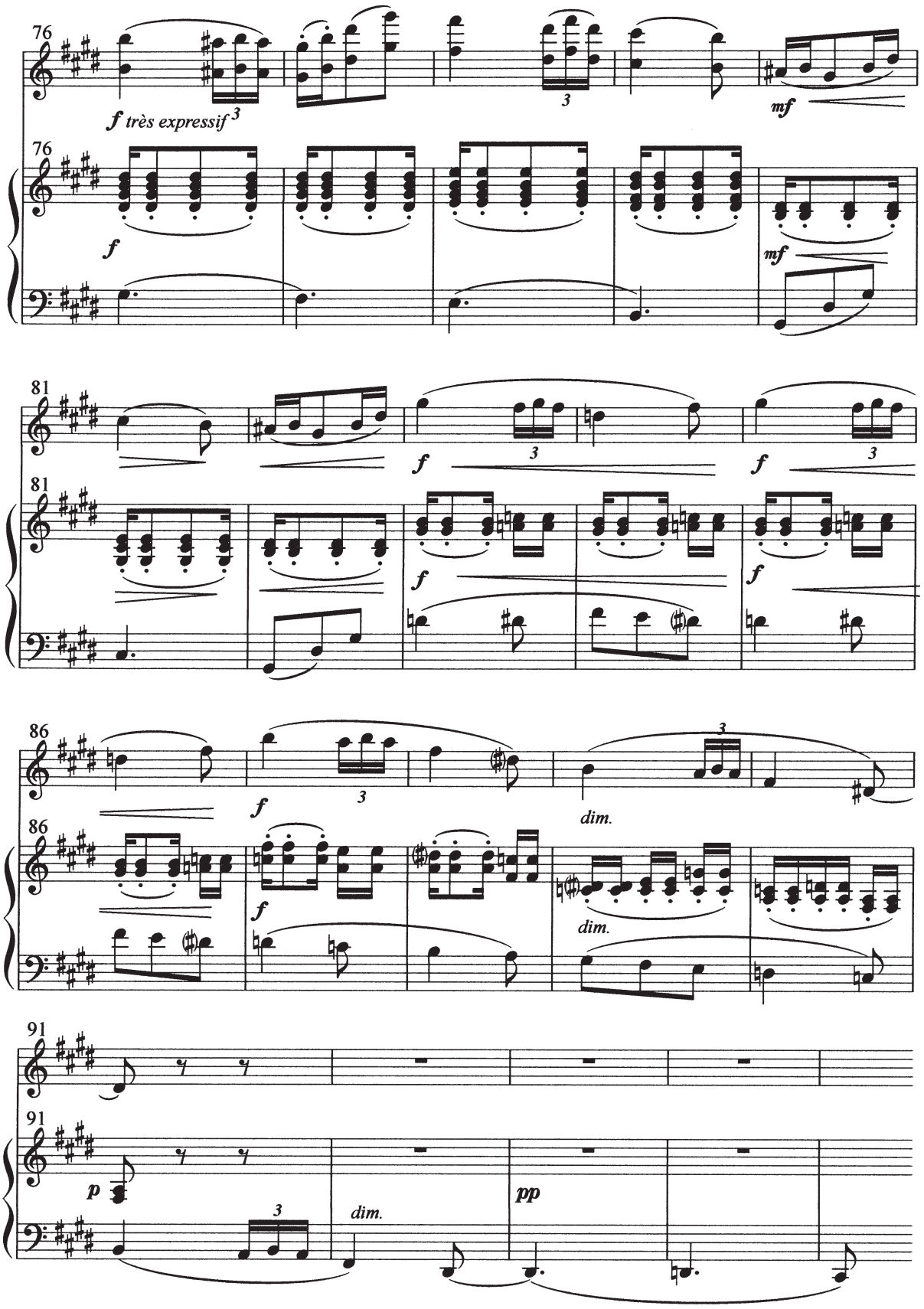
課題5. 弦楽四重奏曲 Op. 10 第3楽章(Debussy作曲)をもとにした2声課題



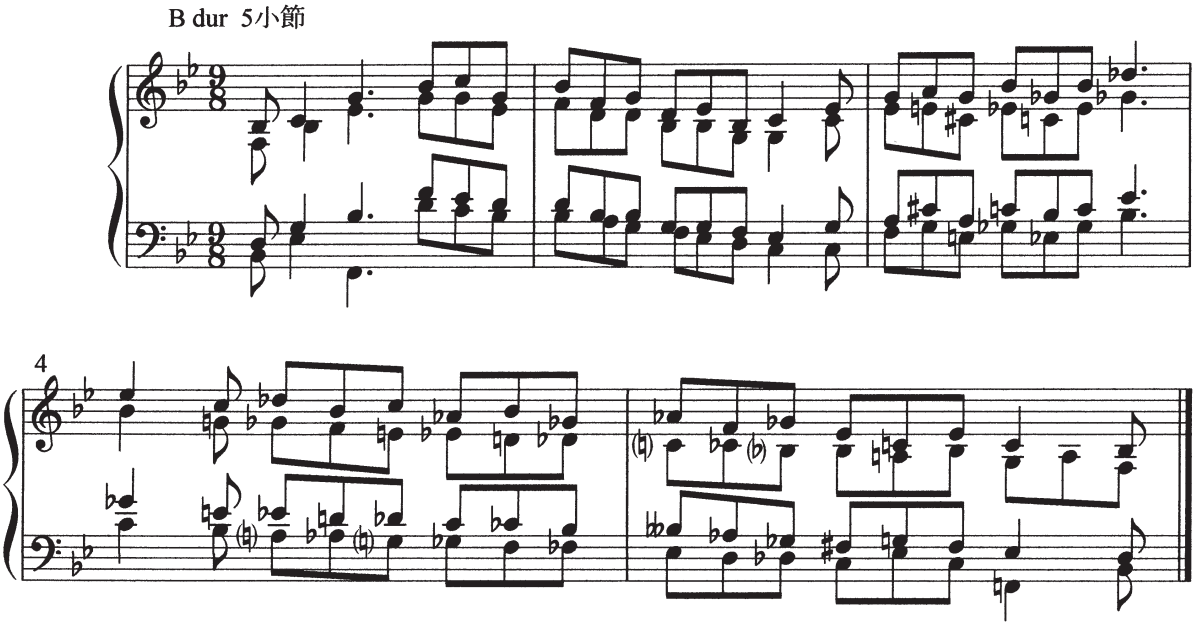
課題5の1～3小節目に用いた原曲箇所を抜粋



課題5の4小節目以降に用いた原曲箇所を旋律＋ピアノ用に編曲

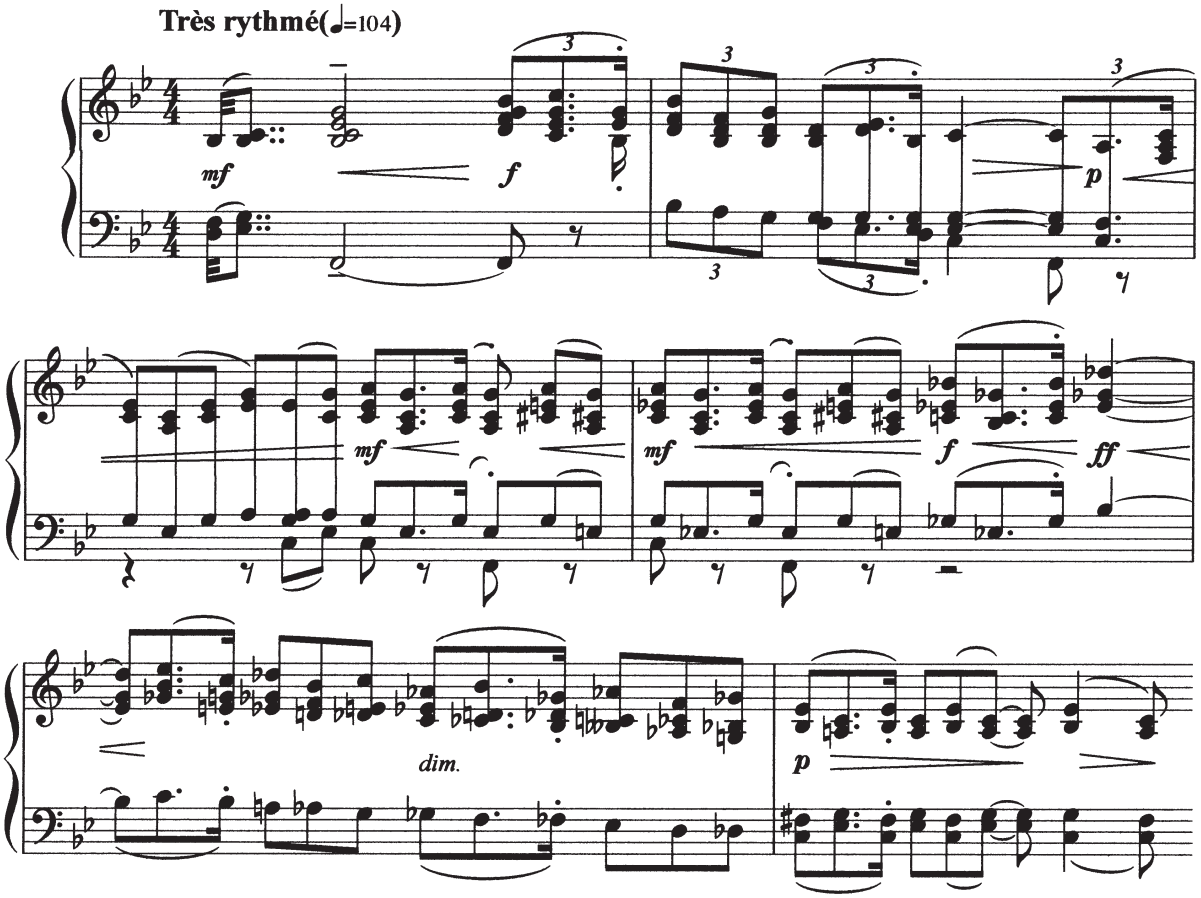


課題6. 「海―管弦楽のための3つの交響的素描」より「I. 海の夜明けから真昼まで」(Debussy作曲)をもとにした4声課題

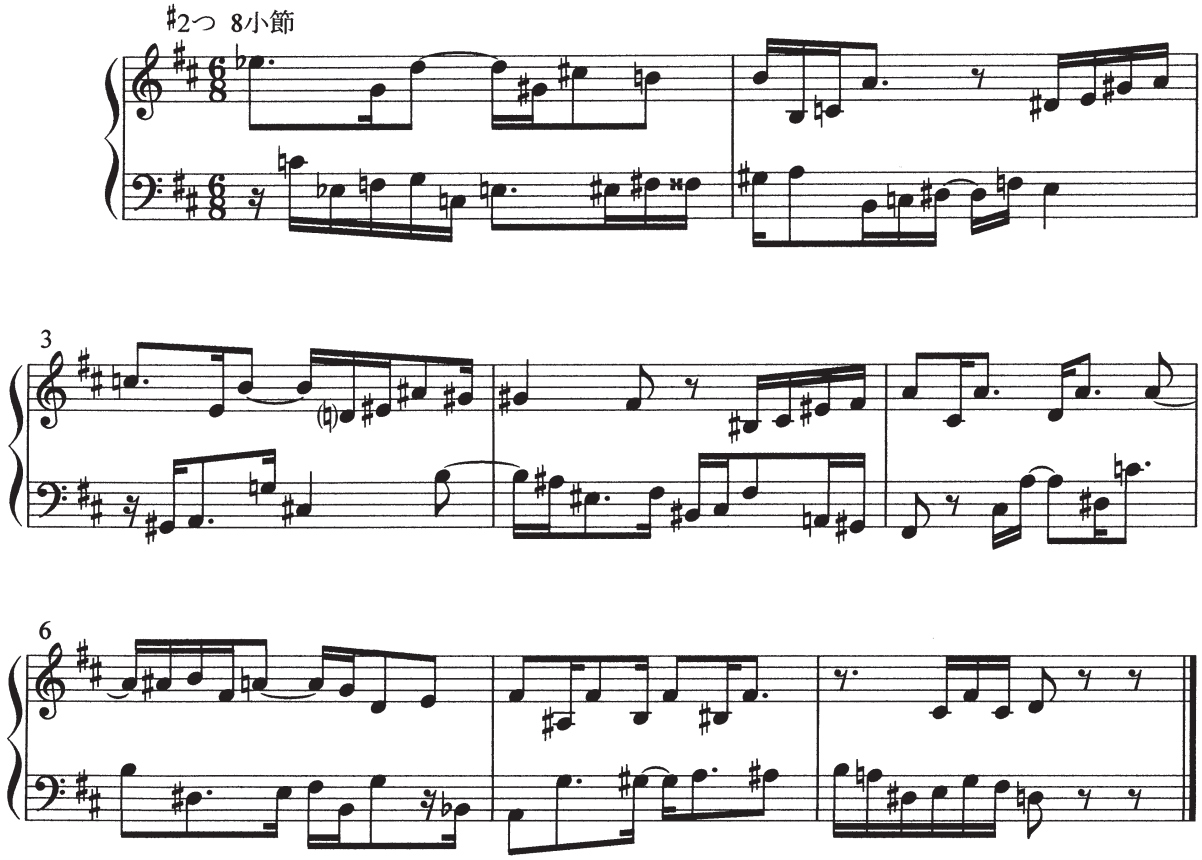


課題6の原曲より引用部分をピアノ用に編曲

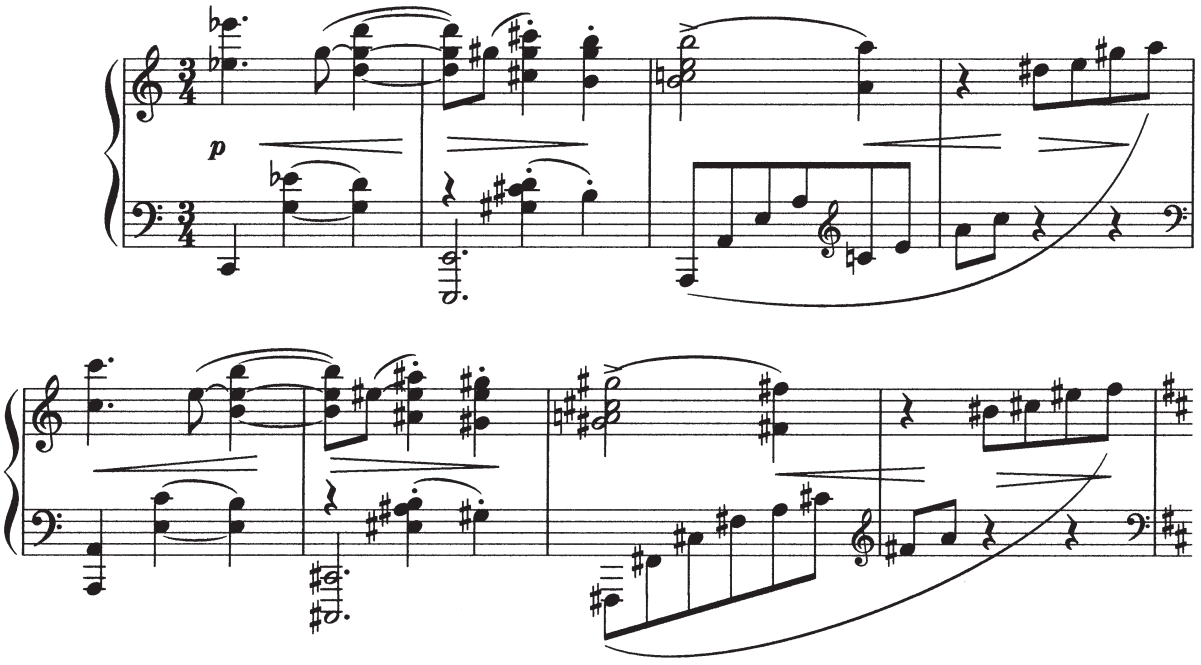
練習番号 9

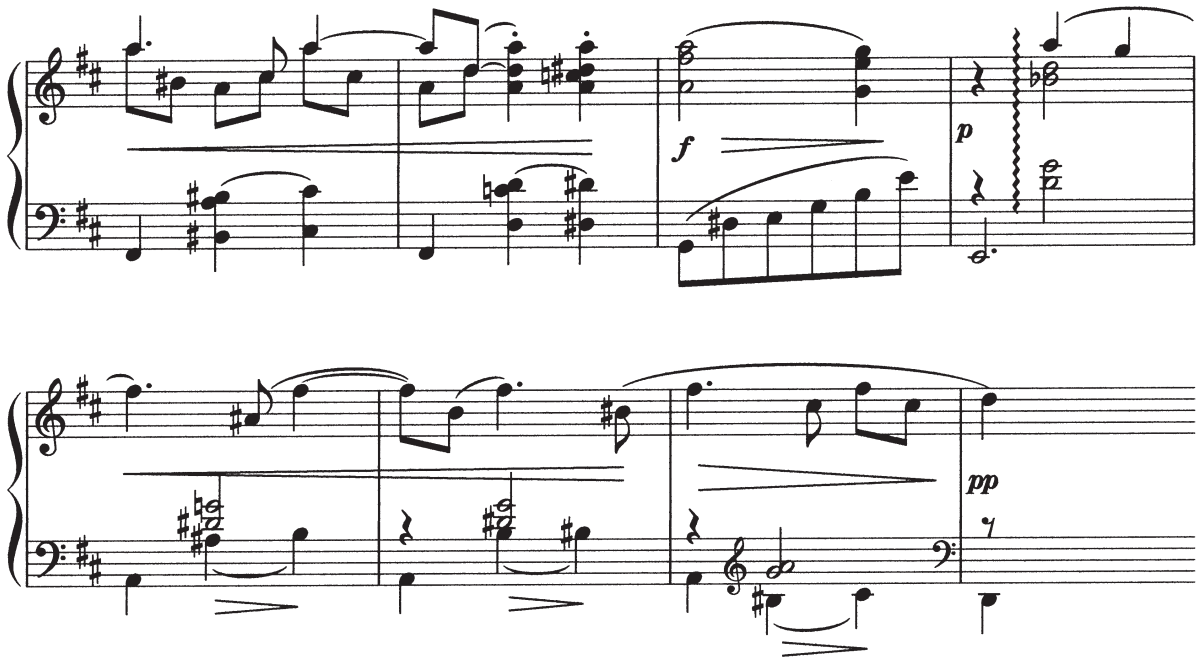


課題7.「ラ・ヴァルス」(Ravel作曲)をもとにした4声課題



課題7の原曲より引用部分を抜粋





※管弦楽曲の他、作曲家自身によって独奏ピアノ、２台ピアノに編曲したものがある。

参照楽譜

Berlioz, Hector. *Symphonie Fantastique Op.14*, edited by Ongaku - no - tomo edition, 2001.
FRANCK, César. *Great Chamber Works*, edited by Dover Publications Inc., 1991.
DEBUSSY, Claude. *Quartet Op.10*, edited by Ernst Eulenburg , 1969.
DEBUSSY, Claude. *La Mer - Trois Esquisses Symphoniques* -, edited by Dover Publications Inc., 1997.
RAVEL, Maurice. *La Valse*, edited by Dover Publications, 2004.